

令和 6 年度室蘭開発建設部総合評価審査委員会（第 2 回） 審議概要

<p>開催日時 及び場所</p>	<p>令和 7 年 2 月 6 日（木金） 13:30～15:30 室蘭開発建設部 1 階大会議室</p>	
<p>委 員</p>	<p>ありむら みきはる 有村 幹治（委員、室蘭工業大学 教授） かわむら しま 川村 志麻（委員、室蘭工業大学 教授） したむら みつひろ 下夕村 光弘（委員長、苫小牧工業高等専門学校 教授） わたなべ あきお 渡辺 暁央（委員、苫小牧工業高等専門学校 准教授）</p> <p style="text-align: right;">（敬称略、五十音順）</p>	
<p>議 事 次 第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 部長あいさつ 3 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果について (2) 個別審議 (3) その他 4 閉会 		
<p>質 問 ・ 意 見</p>		<p>回 答</p>
<p>(1) 総合評価落札方式、プロポーザル方式 の実施結果について</p> <p>(2) 個別審議</p> <p><工事事後審査></p> <p>①日高自動車道新ひだか町清水丘改良工事 ・「コンクリートの施工に関する留意点について」と大きな評価項目としていることの理由について説明してほしい。</p> <p>・6 番社の 2 つ目の提案において施工しない橋台コンクリートについて記載しているが、これを評価する理由について説明してほしい。</p> <p>・6 番社の提案において、他の作業と比べて影響が小さいと思われるコンクリート工において騒音対策を評価する理由を説明してほしい。</p> <p>②追直漁港－5. 5m岸壁 C 部改良工事 ・他社では評価しているが 2 番社のアラートによる警告を評価しないのは何故か説明してほしい。</p> <p><業務事後審査></p> <p>①胆振地域農業用ダム保全対策検討業務 ・シシャモの生育環境についての記載が流域内の自然環境の特性として評価している理由を説</p>		<p>・報告に対し了解を頂いた。</p> <p>・工事費全体に占める当該工種の割合及び各段階の網羅的な提案に対する期待を説明し了解頂いた。（高い技術を求めるならテーマを絞った方が良いのではとの意見が下夕村委員長よりあり）</p> <p>・コンクリート養生について技術的に有効な提案であることを評価しているが、今後、より明確な評価となるよう工夫したい。</p> <p>・現地の状況、評価の考え方を説明し了解を頂いた。</p> <p>・他社がアラートによる警告以外にも複数の対策を提案しているのに対して 2 番社の提案は一方的な情報提供のみであることを説明し了解いただいた。</p> <p>・地域の実情を踏まえ、評価の考え方を説明し了解を頂いた。</p>

明してほしい。

・技術者の表彰の有無が落札決定に大きな影響があるように感じる。技術提案との配点比率など今後も確認していきたい。

また、若手技術者は表彰を受けていない人が多いと思うが、若手の育成の観点から、表彰に左右されない入札方式の業務があっても良いのではないか。

④直轄海岸砂浜保全技術検討外業務

・日本海における津波断層パラメータの確認とは何を検討するのか。

・日本海の津波断層に対して、本業務で取り扱うのは何故か説明してほしい。

・B社のコントロールポイントが工程表に記載されているが、これを評価しない理由を説明してほしい。

・D社が余白不足で評価対象外とした理由を説明してほしい。

(以下、空白)

・参考として検討させていただきます。

・最大クラスの津波の断層モデルの設定に用いるパラメータについて能登地震を踏まえ変更する必要があるか確認することについて説明し了解いただいた。

・当部が管理する胆振海岸の検討においても必要な内容であることを説明し了解いただいた。

・コントロールポイントの内容の記載がなく不明確であり評価していないことを説明し了解いただいた。

・D社は入札説明書に記載されている余白の規定を守られていないため、情報量の公平性が保てないことから評価対象外としたことを説明し了解いただいた。

委員会による意見の具申又は勧告の内容

なし

※入札参加者の提案又はその評価に係わる内容については、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。